

第16週の発生動向(2008/4/14~2008/4/20)

1. 咽頭結膜熱については、東地方+青森市保健所管内において第45週から、むつ保健所管内では、第48週から**警報**が続いています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、東地方+青森市保健所管内において第8週から、弘前保健所管内では第10週から**警報**が続いています。

第16週五類感染症定点把握 注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	
(85) インフルエンザ	6	0.43											6	0.09	1			6	0.50	
(74) RSウイルス感染症															0					
(75) 咽頭結膜熱	15	1.67	4	0.44			1	0.20	7	1.17	7	1.75	34	0.81	14	5	5.00	10	1.25	
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	4.44	24	2.67	5	0.56	3	0.60	4	0.67	3	0.75	79	1.88	12	2	2.00	38	4.75	
(77) 感染性胃腸炎	144	16.00	66	7.33	26	2.89	29	5.80	39	6.50	11	2.75	314	7.48	21	11	11.00	133	16.63	
(78) 水痘	8	0.89	18	2.00	5	0.56	14	2.80	20	3.33	1	0.25	66	1.57	8	1	1.00	7	0.88	
(79) 手足口病											1	0.25	1	0.02	-3					
(80) 伝染性紅斑			1	0.11	5	0.56					1	0.25	7	0.17	0					
(81) 突発性発しん	9	1.00	3	0.33					5	0.83	3	0.75	20	0.48	-2	1	1.00	8	1.00	
(82) 百日咳															0					
(72) 風しん	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(83) ヘルパンギーナ					1	0.11							1	0.02	1					
(73) 麻疹	平成20年1月1日から全数把握疾患に移行しました。															0				
(84) 流行性耳下腺炎	3	0.33			1	0.11	1	0.20			1	0.25	6	0.14	0			3	0.38	
(86) 急性出血性結膜炎															0					
(87) 流行性角結膜炎	3	1.50					1	1.00					4	0.36	-3			3	1.50	
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.00					1	1.00	5	0.83	4					

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (小児科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

は警報
  は注意報
 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (注:届出数は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患): 弘前13人、八戸5人、青森市2人

(20年計:113人)

(58) アメーバ赤痢(五類全数把握疾患): 弘前1人

(20年計: 3人)

# 感染症の窓

# 結核

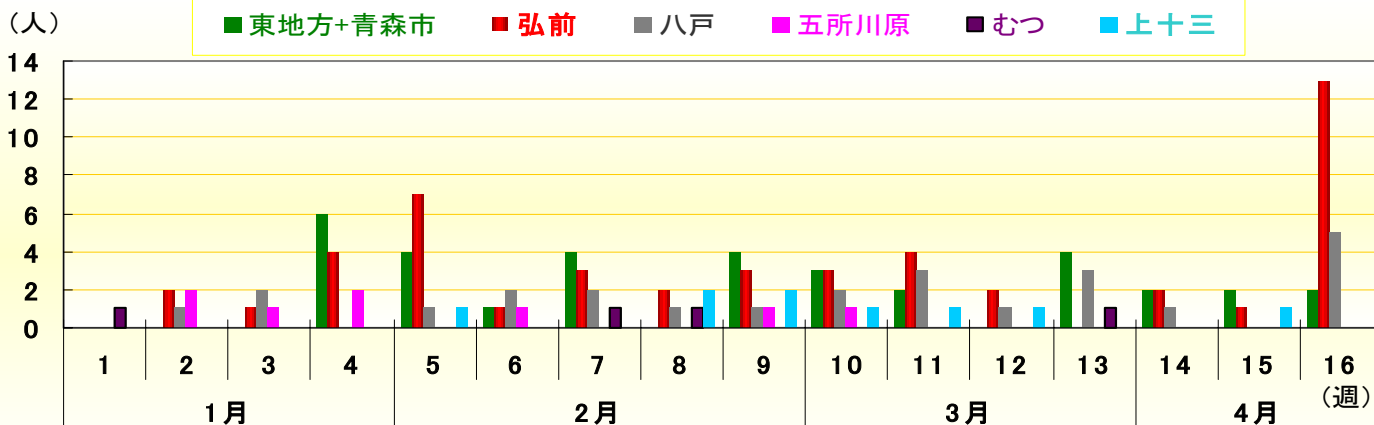


図 青森県における保健所管内別届出数推移 (速報値)

結核は、現在も国内における主要な感染症の一つであり、過去の疾病ではありません。本県における結核罹患率は全国平均を下回っているものの、東北地方の中では高い状況にあります。感染は、重症な結核患者の咳やくしゃみ、痰とともに空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことにより起こります。初期症状は、かぜに似ていることもあり、結核と気づかず人にうつしてしまうこともあります。今月に入り、弘前保健所管内において、本疾患による集団感染事例が確認されています。咳や痰が2週間以上続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

また、抵抗力の弱い赤ちゃんは、結核に感染すると重症化しやすいため、生後6ヶ月までにBCG接種を受けましょう。